

Monthly Report

2016年9月号

特集 横断歩道 止まっていますか？

秋の交通安全運動も近づいていますが、今月はその重点項目の一つである、子供や高齢者の安全確保に関係の深い、横断歩道について取り上げてみたいと思います。平成27年中の交通事故の内、道路を横断中の歩行者と車両との事故が31,707件起きていました。さらに、その約2/3の19,314件が、横断歩道および横断歩道付近で発生しています。横断歩道での事故は意外に多いようです。あなたは横断歩道手前で止まっていますか？



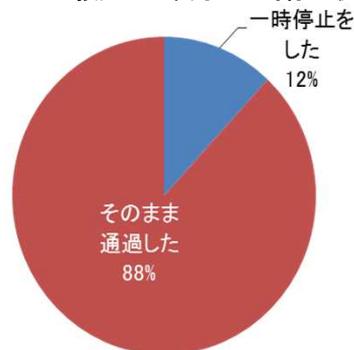
(数値、平成27年警察庁統計資料より引用)

1. 横断歩道前一時不停止の実態

ある観察調査結果によると、信号機の無い横断歩道で、歩行者等が横断しようとしているときに、接近した車両159台中140台が一時停止も徐行もせずにそのまま通過しており、歩行者等保護がないがしろにされています。

これは道交法38条違反であり、「横断歩行者等妨害等違反」にあたります。歩行者は、横断歩道だから車は止まってくれるだろうと油断し易く、死亡事故にも繋がり易いため、運転者、歩行者共に横断歩道周辺での行動には十分な注意が必要です。

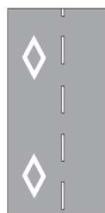
*1 信号機のない横断歩道で歩行者が横断しようとしたときに接近した車両の一時停止状況



*1 Honda Document eye ファイルボックス 04
http://www.honda.co.jp/safetyinfo/document_eye/pdf/document_eye_file_04.pdf
 [朝の通勤時間帯に信号の無い横断歩道で歩行者保護を行う車両を観察する] p13
 資料データを元に当社作成

交通安全クイズ

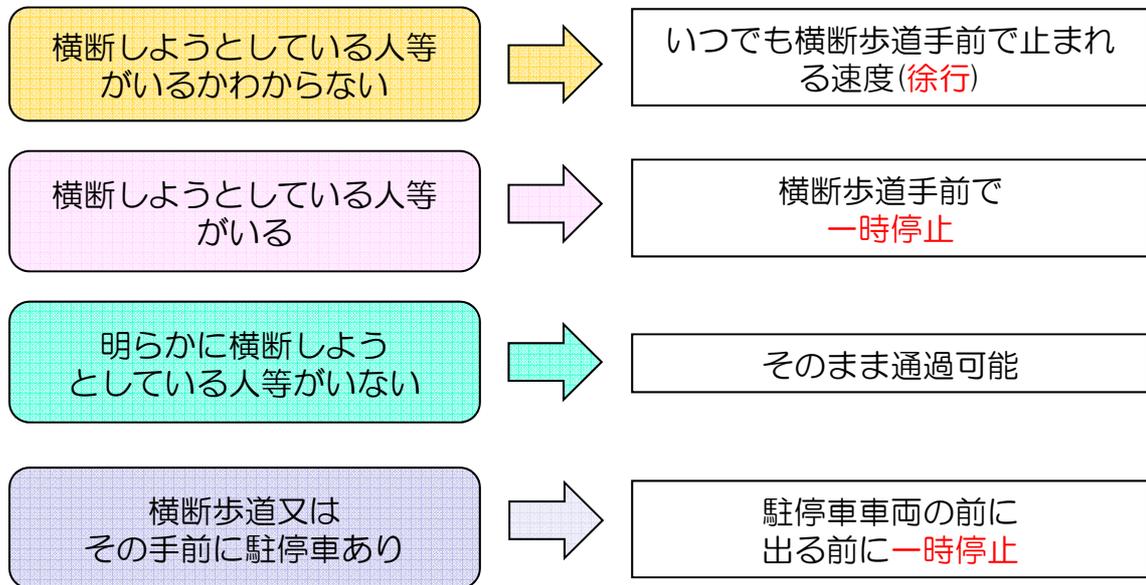
- 右側の菱形の路面標示は、何を意味しているでしょう？
- ①前方に合流がある。
 - ②前方に踏切がある。
 - ③前方に横断歩道がある。



*クイズ解答は、裏面下段に掲載しています。

2. 横断歩道は歩行者等優先

道交法38条（横断歩道等における歩行者等の優先）規定概要図 *2



道交法38条（横断歩道等における歩行者等の優先）の規定では、横断歩道では歩行者等優先の原則が明確に打ち出されており、横断中若しくは横断しようとしている人等がないことが明らかでない限り、車両はいつでも横断歩道手前ですぐに止まれる態勢を要求されています。

横断歩道を見かけたら、

- ① 先ずは速度を落とし横断歩道周辺の安全確認を行います。
- ② 渡りそうな人や自転車を見かけたら必ず手前で一時停止をします。
- ③ 横断終了を確認したら、一呼吸置いてから発進します。
- ④ 駐停車車両がある場合は、側方通過前に一時停止を忘れずに。

*2 当社作成

交通安全クイズ解答・解説

正解 ③前方に横断歩道がある。

路面上の菱形のマークは、前方に信号の無い横断歩道があることを示しています。二個の菱形が横断歩道手前30mと50mのところに描かれており、横断歩道の存在だけでなく位置の情報も入手しやすくなっています。



SOMPO ホールディングス
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
ホームページ <http://www.sjnk.co.jp>

時間に余裕をもって、
「お・も・い・や・り」のある運転を！
みなさまの無事故を願っております。

エヌエスサービス（株）一同